

平成22年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		鹿ノ台北1丁目自治会 (363世帯)	
公園名称		鹿ノ台いちよう公園	
公園概況	公園面積	1596.32㎡	
	公園種別	街区公園	
	公園開設	昭和53年5月23日	
	環境・地形・特徴	鹿ノ台住宅地の中にあり、鹿ノ台北1丁目地内のほぼ中央に位置する。起伏のある地形で、植栽地が多いのが特徴。水飲場もある。	
地域の連携	地域団体	鹿ノ台北1丁目自治会	
	ワークショップ参加 予定人数	64名 自治会・老人会・有志等	
公園の課題解決	公園の概要・問題点	問題点 住民の毎月の清掃や外注業者による草刈りなど、管理のために多くの人手や費用をかけているが、その割には公園の利用率が低い。 現在急増中の高齢者が利用するには機能不足。 公園内の高低差が大きく、生垣もあり、見通しが良くなって防犯上問題。	
	地域の皆さんの 公園との関わり	公園の利用 いちよう公園は、北1丁目の真ん中にあるにもかかわらず、普段はあまり利用しないかわりの薄い公園である。 高齢者など住民がいちよう公園に気軽に集まってくる、そんな「ちょっと行ってみよう」という気を起こすような公園にしていきたい。	
	公園の育成	住民が、気楽に、気安く集まれる憩いの場所にしたい。例えば、 雨露をしのぐ屋根のついた建物(あずま屋)を建て、そこを自由に出入りできる場所にする。休憩ベンチの場所を増やす。 様々なイベントを催したい。そのための遊び道具を用意したい。 掲示板を公園内に設け、住民が興味を持つ掲示をする。 花壇を新たに設ける。	
	公園の育成管理に ついての考え	三世代にとっての交流の場となるような、老若男女が知恵を出し合い気軽に実行していく雰囲気・環境を作り上げたい。 自治会は勿論、種々クラブ、老人会、民生...などボランティアを中心に、住民が自主的・積極的に管理していく。 いちよう公園管理ボランティア(仮称)を設け、自治会とは両輪の形で進めたい。どちらかというボランティアが維持管理の主体になるようにしたい。 付近住民とは定期的な情報交換を行い、問題解決に当たる。 集会所とのリンクを推進していく。	
備考	応募までの取り組みとして、自治会役員及び関係者による打合せを計6回行っている。また住民に、応募に関するアンケート調査を行っている。		

審査のポイント

地域連携...自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる

公園の課題解決...既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある

公園の育成...公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある